

事務事業マネジメントシート(平成31年度実績と令和 2年度計画)

令和 2年12月17日更新

事務事業名		一般旅券発給事務事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	自治の健康		所属部	市民生活部	課長名	三苫 幸浩
	施策	2	行政改革の推進		所属課	市民課	担当者名	遠坂 未来子
	施策の柱	7	市民サービスの向上		所属班	戸籍住民班	(内線)	1114
予算科目	会計一般	款 2	項 3	目 1	事業連番 11546	根拠法令 旅券法		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 31年度で終了 <input type="checkbox"/> 31年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 23 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	平成23年10月より、権限委譲事務として開始。 一般旅券(パスポート)の申請受付・交付に関する事務を行う。
【業務の流れ】	①書類審査を行い、旅券発行の申請受付 ②申請書等を県に送付し、旅券発行を依頼 ③県から市へ送付された旅券を交付
【主な予算費目】	①需用費(消耗品費) ②役務費 ③委託料
【意見や要望】	特に意見や要望は寄せられていない。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 31年度実績(31年度に行った主な活動)(DO)	申請受付事務から県への申請依頼、旅券交付までを適正に行った。	2年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
		前年度と同じ
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由
→ イ	申請件数	パスポート申請見込み増による消耗品費(県収入証紙)の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	住民登録者	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
		(単位) 人
		→ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	合志市内で旅券申請から交付まで受けられる。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
		(単位) 件
		→ イ
*③成果指標設定の理由と 2年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
満足度の高いサービスを受ける		全体計画 ~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	29年度実績(決算)	30年度実績(決算)	31年度目標(当初予算)	31年度実績(決算)	2年度目標(当初予算)	3年度予定	4年度見込	5年度見込
① 活動指標	件	1,750	1,840	1,800	1,763	1,900	1,900	1,900	1,900	
② 対象指標	人	61,652	62,343	62,338	62,707	62,925	63,600	64,614	65,500	
③ 成果指標	件	1,750	1,840	1,800	1,763	1,900	1,900	1,900	1,900	
投資入費量	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円	47	50	9	8		8	8	
	地方債	千円		3,153	3,750	3,740	4,014	4,046	4,014	
	その他	千円								
	繰入金	千円								
	一般財源	千円		503		18	351			
	(A) 事業費計	千円	47	3,706	3,759	3,758	4,022	4,397	4,022	4,022
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	正規職員従事人数	人	9	9	9	10	9	9	9	9
延べ業務時間	時間	1,092	2,440	2,500	2,470	2,500	2,500	2,500	2,500	
(B) 人件費計	千円	4,319	9,618	9,960	9,788	9,960	9,960	9,960	9,960	
トータルコスト(A)+(B)	千円	4,366	13,324	13,719	13,546	13,982	14,357	13,982	13,982	

事務事業名	一般旅券発給事務事業	所属部	市民生活部	所属課	市民課
-------	------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は31年度の事後評価、ただし複数年度事業は31年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①31年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 目標値を1,800件としていたが、実際の申請は見込みを下回っていた。
	②2年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 旅券法に基づいて事務を行っており、旅券を正確に交付することで達成できる
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 申請に基づき、正確に処理、交付している。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 旅券法に基づく事務は厳密であるため、特に類似する事業は見当たらない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 旅券法に基づく事務を行う為の最小限の経費であり、節減の余地はない。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 旅券法に基づく事務を行う為の必要最低限の費用であり削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市民に平等に公平・公正な対応を行っている。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 旅券法に基づいて事務を行っており、移行することはできない。

3 評価結果の総括 (CHECK)

旅券法に基づき、申請・交付事務を適切に行っている。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策 H29が目標よりも大幅に伸びそれ以降の設定数値の上限を上げたが、新型コロナが発生し海外渡航を控える時期が重なりつつありパスポートの発給が伸びなかった。新型コロナが落ち着くようであれば自然と伸びてくると考えられる。																						